

入選 高学年の部

お母さんがお父さん

ぼくのお父さんは2年前にとつぜん亡くなりました。お父さんは、仕事が休みの日曜日には、キャッチボールをしたり、よくぼくをどこかにつれていったりしてくれました。

お父さんが亡くなつてから、お母さんは、お父さんのあとをついで仕事をしています。

お母さんが仕事か休みの日曜日

「キャッチボールをしようか。」とお母さんは言いました。そしてキャッチボールをしていると、へたくそだったけど、お母さんがお父さんのように思えて、過去にもどれたような気持ちになりました。

お父さんが亡くなる少し前、

「秋になったら釣りに行こう。」とお父さんは言いました。だけど、お父さんとはとつぜん亡くなつてしまいました。ぼくは、ずっとその約束のことを考えていました。

1年たったある日、お母さんが、

「海に釣りに行こうか」とぼくをさそいました。ぼくとお父さんの約束をお母さんは知っていたのかなあと思いました。

行ってみたのはいいけれど、お母さんは釣りが生まれはじめてで、ぼくに

「えさのゴカイをつりばりにつけて、こんなもんきもちわるくてさわれへん。」

奈良県

山添村立やまぞえ小学校 五年

南俊太郎

と言いました。まったくしかなかったがないな。ぼくは、ぬるぬるするゴカイをつりばりにつけました。つり糸を海に入れると、すぐつれました。いつの間にかお母さんもゴカイをさわれるようになりました。これが海釣りなんだなあとぼくは思いました。

前、ダム湖でお父さんをつりをした時は、1ぴきもつれませんでした。釣った魚は、お母さんとお姉ちゃんとぼくで、天ぷらやおさしみに料理してあつという間に全部食べました。

お母さんとはときどきお父さんになって、はじめてのことに挑戦しておもしろい体験をぼくにさせてくれます。お母さんになつてもくれます。ぼくにしたらお母さんは、お母さんでもあり、お父さんでもあります。

お母さん、ぼくのためにいろいろなことに挑戦してくれてありがとう。ぼくは、挑戦しないと何も起こらないんだなと分かりました。失敗してもいいからとにかくやつてみるのが大事だね。ぼくも、お母さんのようにいろいろなことに挑戦していきたいなと思っています。できていなかったら、お父さんになつて

「コラー」

とおこつてね。これからもよろしく。